



アクトエッジ

NO. 91

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「何事にも理由がある」



perky pat presents8
「DOWMA」
作:北村想 演出:加藤智宏
'16年4月 吹上「新世界」スタジオにて



perky pat presents6
「たみちゃんの西瓜」
作:瀬辺千尋 演出:加藤智宏
'15年9月3日～6日 セツ寺共同スタジオにて

筆者が演劇活動を再開して10年くらいになる。30余年前、大学4年で演劇を始め、周りの連中が就職活動に躍起になっている中、会社訪問を全くせずに卒業し無職のまま社会に出た。当時はフリーターという言葉もなく「無職」か「アルバイト」と呼ばれた。そのまましばらくMOVEという演劇ユニットで活動していたのだが、ある日、知らない方から「イベントに参加しない?」と電話があった。どうやら少し前に上演した、廃館になった映画館での『kata-kata』という作品の紹介記事を見て連絡して来たようだ。作品を見ずにオファーするとは「???」な気分ではあるが、初めてのことであったので「そんなもんか?」と思った。そのイベントが「世界デザイン博覧会」(1989年)である。バブル経済が最高潮の時期。儲かった。4ヶ月で数百万円の貯金が出来た。まさに泡のおかげである。筆者はそれを元手にbar Perky Patを始め、席数10名の小さい店だったが15年間続いた。その間、演劇活動は休止状態となったのだが、演劇人との繋がりがなかったわけではなく、むしろそれまで知りあえなかった表現者と対話できる貴重な時間だったといえる。2005年に店を辞めるとKUDAN Projectが主催する『百人芝居 真夜中の弥次さん喜多さん』に参し、その後は制作と演出をしながら現在に至る。振り返れば、でかいイベントが人生の転機となっているような気がする。そして今回、あいちトリエンナーレ2016に参加することになった。あいちトリエンナーレには初回から某かの制作で携わってきたのだが、今回は舞台公募プログラムに応募し

加藤 智宏 (perky pat presents 主宰)

採択された結果の参加である。普段公募にエントリーすることはないのだが、今回は筒井康隆さんが1969年に書かれた『霊長類 南へ』を舞台化する機会をうかがっていたので「しめた!」と応募したわけである。この作品の舞台化は3年前にperky pat presentsとして企画していた。なんだか世の中がキナ臭くなってきて行く先が不透明で物騒な空気が漂い始めた頃、この作品の上演を思いついたのだ。何よりタイトルがカッコいい。しかし、準備を進めていき、上演許可も無事に下り、出演者の顔合わせまで終わった時、この公演の延期が決まった。脚本を担当した瀬辺千尋が他界したのである。『霊長類 南へ』は「核」による人類の滅亡を描く。それを筒井康隆さんは米ソ冷戦時代にありながら、冷静にその状況を見つめシニカルな作品に仕上げた。当時の世界は、東西の拮抗する力関係の中で二進も三進もいなくなっていた。現在はどうだろうか?自爆テロという予想もつかない攻撃や、時折に見え隠れする「核」の存在。「核」は人類にエネルギーをもたらしてはいるもののその性質は最悪である。「人は自分の手で直接触れられないものを扱ってはいけない」と筆者は考える。瀬辺千尋が最後に残した脚本は、筒井康隆さんの世界を描きながらも彼女自身の言葉で人間の愚かさや弱点を突いていく。その言葉を、総勢29名の俳優が舞台上で繰り出すさまをご覧いただければ幸いです。

perky pat presents 10 & 11『霊長類 南へ』
セツ寺共同スタジオバージョン、9月1日～5日。
愛知県芸術劇場小ホールバージョン、9月24日。

トピックス

「原点」



劇団サラダ第22回公演
「老女のとおる物語」
'14年4月11日～13日
青少年交流プラザ(ユースクエア)にて

ティナ棚橋 (劇団サラダ主宰 役者・ナレーター)

幼い頃洋画が好きだった。テレビにかじりついて見ていた。ブラウン管に映る異国の風景、外国人の風貌、スターのカッコよさ!中身や作品はわからない。だけど、映画の中に入り込めば、ガンマン、ヒーロー、時にはマフィア、何にでもなれる、どこへでも行ける。日常から切り離された特別な時間...観終わった後のなんともいえない喪失感。ちょっと大きくなって映画館に足を運ぶ。最前席のご真ん中を陣取る。大きな映像にワクワク。スクリーンからは日本語は流れてこない。スクリーンの右に左に、はたまた下に次々浮かぶ字幕を必死に追いつながら、俳優の顔や風景を見比べる。視線だけでは追いつかないから一生懸命顔を振って映画を楽しんだ...何とも言えぬ充実感。あれからずいぶん歳を重ねた。自分が映画ではなく演劇に携わっていることに気づく...はて?俺、洋画は好きだったけど、演劇好きだったか?思い起こせば演劇の思い出は何もない。ひょ

んなきっかけで高校演劇部に入って以来、数えられないほど舞台には立ってきたが、かじりつくように舞台を見に行ったら覚えはないし、芝居を観に足を運んだのも数えられるほど。劇団立ち上げて20年、思い返せば苦しい事ばかり。何度やめちまえ!!と思ったことか。あれ?俺、演劇嫌いなんじゃないか?でもやっている。ふと気づく、ああ、演劇とか芝居じゃなくて、劇場という場所が好きなんだ。そして振り向けばいつも客席にポツンと一人、洋画好きだった幼い自分が座っているんだと。客席の「彼」は、今の自分をわくわくドキドキ楽しんでみてくれるだろうか?そんなものが割れているだろうか?...原点に帰って来た気がする。そんな時一本の芝居の話が舞い込んだ。名古屋市文化振興事業団「ルームサービス」。舞台は80年前のプロードウェイ、役は外国人。洋画好きだった幼い自分にうってつけの作品だ。今、『彼』を喜ばせる自信は...きつと、ある。

アクテノン・シャワー

「アクテノン・フェスティバル」のご案内

日頃、アクテノンを利用している皆さんと名古屋音楽大学の出演者が、野外劇場で演劇・音楽・舞踊などのステージを繰り広げます。秋の日だまりの中、散歩がてらに芸術の秋を楽しんでみませんか。ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

日 時：平成28年10月8日(土)・9日(日)(開演は各日とも13:00です。)

入場料：無料

運営：アクテノン・フェスティバルプロジェクトチーム

主催：(公財)名古屋市文化振興事業団

共催：名古屋市中村区役所

※出演者・内容等につきましては演劇練習館までお問い合わせください。

「駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。」

プチ・アクテノン広告欄募集のご案内

～プチ・アクテノンの裏面を活用しませんか～

演劇練習館[アクテノン]では、毎月演劇情報フリーペーパーを作成・配布しています。以下の条件で毎月募集しておりますので、演劇に関するご案内・募集等、幅広くご利用ください。

【裏面広告利用条件】

■ 広告掲載料 A4判1/2サイズ 1ヶ月 5,000円

■ データ形式 Illustrator/PDF形式

■ 印刷方法 輪転機を使用した白黒印刷

■ 締切 掲載希望月の前月15日まで

掲載を希望される方は、締切前に演劇練習館までお申し出ください。

発行部数 約7,000部(月により変動有)

詳しくは演劇練習館(TEL:052-413-6631)へお尋ねください。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 劇団創造



池戸陽平率いる巣山プロ所属タレント達で創立。現在はプロ・アマ・高校生問わず入団できます。基本スタイルは「歌わない・踊らない・戦わない」でも現在の団長が戦えるので時々戦いっぽいこともします。モットーは「仲良く楽しむ」よくあるピラミッド型のヒエラルキーなどうちには存在しません！そのかわり成長出来るか出来ないかは自己責任。やる気があって努力を惜しまないなら新人でも主役やれます！

「次回公演」2016年秋公演「狐の窓から見る空は」9月17日～18日 名古屋市青少年交流プラザ(ユースクエア)

①1968年 ②5名

③『ずっと一緒』/巣山プロ アトリエ('14年) 『バレンタイン・キル』/青少年交流プラザ(ユースクエア)('15年) 『正義の味方の作りかた』/青少年交流プラザ(ユースクエア)('15年)

④伊藤 佳月

HP:<http://gekidan-sozo.main.jp/>
E-mail:yoshiko_j2000@yahoo.co.jp

「アクテノンに一言」通常でも22時まで使えることと、なんとといっても予約が抽選ではなく早い者勝ちな所！稽古場はアクテノンしか考えられません！これからもどうぞよろしくお願いいたします。

演劇 劇団マネキン



劇団マネキンはオオノショウヘイが「生きる舞台を」目標に掲げた団体です。目標は何か仰々しい感じもしますが、公演に携わる人が楽しく生き生きと活動出来る団体を目指しています。今回旗揚げ公演の「夢パレード」ですが、とある家族の話です。人を幸せにする為の嘘ってバレたら誰が不幸になるんですかね？そんなことを考えながら書いた話です。いい芝居ができるようにメンバー一同頑張りますので、よかったですらお越し下さい。

①2016年 ②4名

③『夢パレード』/ナンジャレー('16年予定)

④オオノショウヘイ

HP:<http://gekidanmanekin.wixsite.com/manekin>
E-mail:gekidanmanekin@gmail.com

「アクテノンに一言」練習室の空間がとても素敵です。空間の力というのは練習にも影響する要素だと思っているので今後も利用したいと思っています。いつもご迷惑をかけておりますが、これからもよろしくお願いいたします。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

双身機関 第18回公演 『出口なし/芝居』	① 七ツ寺共同スタジオ ② 9月10日(土) 15:00、11日(日) 15:00 ③ 一般前売3,000円(当日3,300円) 学生前売1,500円(当日1,800円) ④ ☎090-1625-6425 info@soushinkikan.org サルトル、ベケット作品の連続上演です。忍耐の観劇。
演劇組織KIMYO 第16回公演 『ハロウザディップ』	① 名古屋市東文化小劇場 ② 9月29日(木) 19:00、30日(金) 19:00、10月1日(土) 13:00 18:00、2日(日) 11:00 16:00 ③ 前売2,800円(当日3,000円) 中高生割1,800円 ④ ☎090-3932-1935 kimyo-na-yatsura@hotmail.co.jp 9月8日～11日に東京公演も行っております！是非ご来場ください！
(公財)名古屋市文化振興事業団 名古屋の演劇人が贈る名作劇場 『ルームサービス』	① 名古屋市西文化小劇場 ② 10月21日(金) 18:30、22日(土) 13:30 18:30、23日(日) 13:30 ③ 一般3,000円(事業団友の会会員・障がい者手帳・学生2,400円) ④ ☎052-249-9387(名古屋市文化振興事業団チケットガイド) 舞台は80年前の古き良きブロードウェイ 今蘇るドタバタ名作コメディの決定版！地元キャスト・スタッフが劇団の枠を超えて集結し上演します！
遠山事務所プロデュース 『望郷 サンダカン八番娯館』	① 名古屋市芸術創造センター (月組、★：星組) ② 11月3日(木・祝) 13:00★18:00、4日(金)★13:00 18:00、5日(土) 11:00★16:00 ③ 一般3,500円(事業団友の会会員・障がい者手帳3,000円) 高校生以下2,000円 ④ ☎052-931-1811(芸術創造センター) 8年ぶりの再演です！良いものは良い!!是非観てください。



編集発行/平成28年8月25日(年4回)

公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。

